協会50周年に思う

創立50周年を祝う

公益社団法人 日本ペストコントロール協会
名誉会長　平尾　素一

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の創立50周年を心よりお喜び申し上げます。この50年間、貴協会は素晴らしい組織力により、目覚ましい発展と業界の社会的地位の向上に大きく寄与されました。歴代の会長、並びに役員各位、そして会員各位のご尽力に深く敬意を表する次第です。

貴協会は防除業者の全国組織である日本害虫防除連合会が1968年11月に発足する3か月前の8月に、東京に5つあった同業者グループをまとめ、80社で事業協同組合として発足されたと聞いています。当時、私も電機メーカーにおいてネズミ対策の研究を行っていた縁で、多くの防除事業者の方々と交流があり、貴協会設立までの苦労話をよく耳にしたことを思いだします。

会員の企業は当然それぞれ独自の理念や経営方針があり、同業であるだけに時として利害が相反することや、感情的なもつれ等が起きたこともあり、まとめあげるには大変な苦労があったことと想像します。その後、都民からの害虫相談業務の運用、感染症予防衛生隊の結成と運用、緊急時の蚊成虫の防除法の研究、感染症媒介蚊のサーベイランス、デング熱発生時の蚊防除等々、各地の協会のお手本になるような事業を次々と推進されて来られました。まさにペストコントロール協会のリーダー的な存在として今日まで活躍されましたことは誠に敬服に値するものであります。これからも我が国のペストコントロール協会をリードする役目を果たされますことを大いに期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。